

授業科目 基礎看護概論 I (1単位：30時間)

<目 標>

看護の概念や看護理論を学び、看護の本質を理解する

履修時期：1年次前期

評価時期：1年次前期

評価方法：筆記試験（小テスト含む）、レポート、GW、授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

松田智恵子 30時間 母体病院にて助産師7年

使用テキスト：医学書院 看護学概論 F・ナイチンゲール：看護覚え書

ヘンダーソン：看護の基本となるもの

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
松田	看護を学びはじめるにあたって	科目の位置づけを理解し、看護師像をイメージできる	1. 基礎看護学の位置づけ、ガイダンス 2. 「イメージする看護師像」をグループワーク	2	講義	小テスト20点＋筆記60点＋GW10点＋レポート10点
	看護活動の本質	看護の歴史の変遷と、看護各理論家や看護職能団体による看護の定義を手がかりに看護とは何かを考えることができる	1. ヘンダーソンを理解する：GW「看護の基本となるもの」	2	GW講義	
			2. ヘンダーソンを理解する：GWの発表	2		
			3. ナイチンゲールを理解する「看護覚え書き」看護の定義	2		
			4. 小テスト	2		
			5. 看護の役割と機能	2		
			6. 各理論家のケリング（レインガー、ワソン、スワソン、ミルトンメイロフ、トラベルビー等）	2		
	看護の対象の理解	生理学・心理学的・成長発達段階から見た人間、生活者としての人間を理解できる	1. 人間のこころとからだ 2. 成長・発達段階かみた人間の理解 3. 生活者としての人間の理解（マズローの欲求段階説、キューラーロス、フィンク）	2 2	講義	
	健康のとらえ方	人間にとっての健康のとらえ方や健康と障害、生活との関係を理解できる	1. 健康とは「私たちが考える健康」のGW	2	講義GW	
			2. GW	2		
3. GW発表 健康の定義、ヘルスプロモーション			2			
4. 人々の生活と健康に関する統計①			2			
5. 人々の生活と健康に関する統計② 現代の家族とライフサイクル						

	看護の提供者	看護職の資格と養成制度や継続教育の概要を理解し、キャリア開発について考えることができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小テスト 2. 職業としての看護 3. 看護職の資格と養成 4. 看護職者の就業状況と継続教育 	2	講義	
	看護における倫理	看護と倫理について理解する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護倫理 2. 看護倫理綱領 	2	講義 G W	
			<ol style="list-style-type: none"> 3. 事例展開 	2		

授業科目 基礎看護概論Ⅱ (1単位：15時間)

<目 標>

看護研究の意義と方法を理解し、より良い看護実践と研究のつながりが理解できる。

履修時期：3年次前期

評価時期：3年次前期

評価方法：筆記試験 事例研究抄録・発表 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

大野 薫 15時間 母体病院にて看護師20年

使用テキスト：医学書院 看護学概論 照林社 わかりやすいケーススタディの進め方

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
大野	看護研究の意義	看護における研究の意義が理解できる	看護研究とは 看護研究の目的と看護に置ける研究の重要性 研究論文を読む	2	講義 演習	筆記 40点
	看護研究のプロセス	看護研究のプロセスについて理解できる。	研究課題の明確化、 文献検索、 研究デザイン	2	講義 演習	
			倫理的配慮 研究計画書の作成、 データの収集・分析 論文のまとめ方・発表方法	2	講義	
	研究の実践 (事例研究)	事例研究について理解し、実践することができる。	事例研究の進め方	1	講義	抄録 発表 60点
			事例研究のまとめ	4	個別 指導	
			事例研究の発表 事例研究発表会への参加	4		

授業科目 基礎看護技術論 I (1 単位 : 30 時間)

< 目 標 >

1. 看護技術の構造について理解できる
2. 対象の健康問題を解決するための科学的思考プロセスを理解できる

履修時期：1 年次

評価時期：1 年次

評価方法：筆記試験 事例による看護過程の展開 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

大野 薫 30 時間 母体病院にて看護師 20 年

使用テキスト：医学書院 基礎看護技術 I 基礎看護学② 電子辞書 (NANDA 看護診断)

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
大野	看護技術とは	看護における技術の考え方を理解できる	1.看護技術の意義 2.看護技術の特徴と基本原則 3.基礎看護技術として求められる範囲 4.看護技術の遂行に求められる能力	2	講義	筆記 80 点 + 演習 20 点
	看護過程とは	問題解決思考をもとに、看護過程における健康問題を解決する意義と考え方を理解できる	1.看護過程の基本構造 2.問題解決型アプローチと看護過程 3.問題志向型システムとしての看護過程 4.フィードバックシステムとしての看護過程	2	講義	
	情報収集	看護過程における情報収集と情報の整理の意義と方法を理解できる	1.観察と情報収集 2.情報源 3.情報の種類 4.情報収集の手段 5.情報に関する倫理的配慮 6.情報の整理	4	講義	
	分析・解釈 (アセスメント)	看護過程における情報の分析・解釈 (アセスメント)の意義と方法を理解できる	1.アセスメントとは 2.アセスメントの種類 3.ゴードンの 11 の機能健康パターンを活用しアセスメント 4.関連図 全体像	4	講義	

	看護問題の 明確化	看護過程における看護上の問題を明確化する必要性を学び、看護問題の記載方法を理解できる	1.看護問題の明確化：看護診断 2.看護問題とは、 3.関連因子と症状・徴候 4.看護問題の優先順位の考え方 5.看護問題の記載方法 1)NANDAの看護診断ラベル	2	講義	
大野	看護計画立案 目標・具体策	看護過程における看護上の問題を解決するための計画の必要性和計画立案の方法を理解できる	1.看護計画の立案 2.目標と評価日の設定 1)計画の立案 2)観察計画・ケア計画・指導/教育計画	4	講義	
	実施と記録記載と報告	看護過程における介入実施と実施時の記録の記載方法の必要性を理解し、報告の必要性をも理解できる	1.看護計画の介入実施 2.実施時の記録 3.記録の種類 4.報告の意義	2	講義	
	評価	看護過程における評価の意義と方法を理解できる	1.評価の内容 2.評価の視点 3.3つの評価	2	講義	
	事例展開とまとめ	事例を通して、看護過程の展開の全プロセスを適応させ、健康問題解決の考え方を理解できる	1.事例による看護過程の展開 2.まとめ	8	講義 ・ 演習	

授業科目 基礎看護技術論Ⅱ (1単位：15時間)

<目 標>

1. 看護援助に必要な人間関係を成立・発展させるための基本的技術が理解できる

履修時期：1年次

評価時期：1年次

評価方法：筆記試験 GW (コミュニケーション演習) 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

大野 薫 15時間 母体病院にて看護師20年

使用テキスト：医学書院 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
大野	看護実践における人間関係の必要性	医療におけるコミュニケーションの意義と目的を理解できる	1. 医療におけるコミュニケーションの特徴 1)医療者と患者 2)医療者と医療者 2. コミュニケーションの構成要素 3. コミュニケーションの伝達手段 1)言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション 2)コミュニケーションにかかわる要因	2	講義	筆記 80点 + GW 20点
	看護におけるコミュニケーションの基本技術	看護における人間関係成立のためのコミュニケーション技術を理解できる	1. コミュニケーションの基本技術 1)信頼関係の構築 2)傾聴の技術技術 3)情報収集の技術 4) 環境設定	2	講義	
			1. 事例を通してのコミュニケーション技術	2	GW	
			1. 事例を通してのコミュニケーション発表	2	演習	
	コミュニケーション障害への対応	コミュニケーションに障害がある人への対応が理解できる	1. コミュニケーションに障害がある人の特徴 2. コミュニケーションに障害がある人への対応 1)失語症のある人への対応 2)構音障害のある人への対応 3)伝音・感音・神経伝達に問題がある人への対応 4)認知症のある人への対応 5)意識障害がある人への対応	2	講義	
	プロセスレコード	プロセスレコードを用いて看護の振り返りができる	1. プロセスレコードの書き方 2. プロセスレコードから看護を振り返る	2	講義	
			1. 事例を通してのプロセスレコード	2	GW	
	まとめ		全体のまとめ 試験	1		

授業科目 基礎看護技術論Ⅲ (1単位：30時間)

<目 標>

1. 安全を守る技術を習得できる
2. 対象者の健康状態を評価する基本的な方法を習得できる

履修時期：1年次

評価時期：1年次

評価方法：試験（筆記50点＋実技50点の評価の詳細に関しては、開講後に説明する） 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

円谷かおり 18時間 ヘルスアセスメント

母体病院、他医療機関にて看護師17年

渡邊 瞳

12時間 安全管理の技術・安全確保の技術・ボディメカニクス・感染防止

母体病院、他医療機関にて看護師12年

使用テキスト：医学書院：基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 参考テキスト：フィジカルアセスメント完全ガイド

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価	
渡邊	安全管理の技術	対象の安全を守るための基本となる援助技術を理解できる	1.安全・安楽とは 2.安全・安楽の阻害因子 3.医療事故とその対策、抑制	2	講義	筆記 40点 (実技含む)	
	安楽確保の技術	対象の効率的で安楽な動きを作り出すための基本となる援助技術を理解できる	1.安楽な体位とは 2.体位の種類と身体への影響 3.同一体位の弊害	1			
	ボディメカニクス	看護者が効率的で安楽な動きを作り出すための基本となる援助技術を習得できる	1.身体の安定性を保つ 2.作業域を考慮する 3.力を効率よく使う	1			
円谷	ヘルスアセスメント	ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメントの意義を理解し、ヘルスアセスメントに必要な技術を理解できる	1.ヘルスアセスメントとは 2.ヘルスアセスメントに必要な技術 3.ヘルスアセスメントの実際 1)全体の概観、健康観の聴取	2	講義・演習	筆記 60点 (実技含む)	
			2)バイタルサインの観察とアセスメント 体温	2			
			脈拍	2	講義		
			呼吸	2			
			血圧、意識のアセスメント	2			
			身体の計測	2			
			系統別のアセスメント方法を理解できる	1.フィジカルアセスメント 1)呼吸器系のアセスメント	2		講義・演習
			2)心臓血管系のアセスメント	2			

			3)消化器系のアセスメント	2		
渡邊	感 染 防 止	感染防止に必要な知識を理解し、援助技術を習得できる	1.感染防止の基礎知識 2.スタンダードプリコーション 3.感染経路別予防策	2	講義 ・ 演習	安全・ 安楽・ ボディ メカニクス と合 わせる
			4.無菌操作 5.感染性廃棄物の取り扱い 6.針刺し事故	2	講義	
			7.感染予防の実際	4	演習	

授業科目 基礎看護技術論Ⅳ (1単位：30時間)

<目 標>

1. 活動と運動、睡眠と休息の意義と基本援助技術を理解できる
2. 清潔、衣生活の意義と基本的援助技術を理解できる

履修時期：1年次

評価時期：1年次

評価方法：筆記試験 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

福岡あずさ 16時間 活動と運動、睡眠と休息
母体病院にて看護師6年

伊藤祐子 14時間 清潔、衣生活
母体病院にて看護師11年

使用テキスト：医学書院・基礎看護技術Ⅱ

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
福岡	活動と運動	1.活動と運動に必要な基礎知識が理解できる 2.活動と運動のアセスメントができる 3.活動と運動に関する援助技術が理解できる	1.運動に関する基礎知識 1)運動のメカニズム 2)運動の効果	2	講義	筆記 50点
			2.活動の意義 1)活動の意義 2)活動の種類 3)ADLのアセスメント	2		
			3.活動・運動制限時の援助 1)活動・運動制限の影響と援助 2)体位の種類 3)良肢位 4)褥瘡	2		
			4.活動と運動の援助方法 1)ボディメカニクス 2)体位変換	2		
	睡眠と休息	1.睡眠と休息に必要な基礎知識が理解できる 2.睡眠と休息のアセスメントができる 3.睡眠と休息に関する援助技術が理解できる	2)車椅子・ストレッチャー移乗 3)車椅子・ストレッチャー移送 4)歩行介助	4		
			1.睡眠と休息の意義とメカニズム	2		
伊藤	清潔	1.清潔に必要な基礎知識が理解できる 2.清潔のアセスメントができる 3.清潔に関する援助技術が理解できる	2.睡眠障害のアセスメント 3.睡眠と休息への援助方法	2	講義	筆記 50点
			1.清潔の意義と生理的メカニズム 2.清潔に関するニーズのアセスメント	2		
			3.清潔援助の実際 1)全身清拭 2)部分浴(足浴・手浴)	4		
			3)洗髪	2		

	衣生活	<ul style="list-style-type: none"> 1.衣生活に必要な基礎知識が理解できる 2.衣生活についてのアセスメントができる 3.衣生活を整える援助技術が理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 1.衣生活の意義 2.衣生活に関するニーズのアセスメント 3.衣生活援助 <ul style="list-style-type: none"> 1)寝衣交換 	4		
--	-----	--	--	---	--	--

授業科目 基礎看護技術論Ⅴ (1単位：30時間)

<目 標>

1. 環境調整の意義と基本的援助技術を理解できる
2. 栄養と食生活の意義と基礎的援助技術を理解できる
3. 排泄の意義と基礎的援助技術を理解できる

履修時期：1年次

評価時期：1年次

評価方法：筆記試験 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

渡邊 瞳 16時間 生活環境調整、栄養・食生活
母体病院、他医療機関にて看護師12年

大河原友子 14時間 排泄
母体病院、他医療機関にて助産師13年

使用テキスト：医学書院・基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
渡邊	生活環境調整	1. 生活環境を調整するために必要な基礎的な知識を理解できる 2. 病室と病床の環境調整のためのアセスメントができる 3. 環境調整に関する援助技術が理解できる	1. 生活環境の意義	2	講義	筆記 20点
			2. 病院内環境の調整	2		
			3. 病床環境の調整法 ・ベッドメイキング	2		
渡邊	栄養・食生活	1. 栄養と食生活に必要な基礎的知識が理解できる 2. 栄養と食生活のアセスメントができる 3. 栄養と食生活に関する援助技術が理解できる	1. 栄養と消化吸収 食事の意義 食事の援助	2	講義	筆記 80点
			2. 栄養・食行動におけるアセスメント 栄養状態、摂食能力、嚥下機能、 食欲・摂食行動のアセスメント	2		
			3. 食事援助の実際 療養における食事内容の調整 (食事の種別)	2		
			4. 食事介助	2		
			5. 経管栄養	2		
大河原	排泄	1. 排泄に必要な基礎的知識が理解できる 2. 排泄のアセスメントが理解できる 3. 排泄に関する援助技術が理解できる	1. 排泄援助の基本知識 排泄の意義・心理的援助の必要性	4	講義	
			2. 排泄に関するアセスメント	2		
			3. 排泄援助の基本姿勢	2		
			4. 排泄用具を用いた排泄行動と援助 床上排泄・ポータブルトイレ・ トイレへの誘導	2		
			5. 排便障害時の援助：浣腸	2		
			6. 排尿障害時の援助：導尿	2		

授業科目 基礎看護技術論VI (1単位：30時間)

<目 標>

1. 環境調整の基本的援助技術を習得できる
2. 活動と運動、睡眠と休息の基礎的援助技術を習得できる
3. 清潔、衣生活の基礎的援助技術を習得できる
4. 栄養と食生活の基礎的援助技術を習得できる
5. 排泄の基礎的援助技術を習得できる

履修時期：1年次

評価時期：1年次

評価方法：実技試験 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

渡邊 瞳	8時間	環境調整、栄養・食生活 母体病院、他医療機関にて看護師12年
福岡あずさ	6時間	活動と運動 母体病院にて看護師6年
伊藤祐子	10時間	清潔、衣生活 母体病院にて看護師11年
大河原友子	6時間	排泄 母体病院、他医療機関にて助産師13年

使用テキスト：医学書院・基礎看護技術II

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法
渡邊	環境調整	環境調整の基本的援助技術を習得できる	1.生活環境調整への実際 1)ベッドメイキング	2	演習
			2)リネン交換	2	
福岡	活動と運動	活動と運動の基礎的援助技術を習得できる	1.活動と運動の援助方法 1)体位変換	2	演習
			2)移乗	2	
			3)移送(車椅子・ストレッチャー 歩行介助)	2	
伊藤	清潔	清潔の基礎的援助技術を習得できる	1.清潔援助の実際 1)全身清拭	2	演習
			2)部分浴(手浴)	2	
			(足浴)	2	
	3)洗髪	2			
	衣生活	衣生活の基礎的援助技術を習得できる	1.衣生活の援助の実際 1)寝衣交換	2	

渡邊	栄養・食生活	栄養と食生活の基礎的援助技術を習得できる	1.栄養・食生活への援助の実際 1)食事援助	2	演習
			2)経管栄養	2	
大河原	排泄	排泄の基礎的援助技術を習得できる	1.排泄への援助の実際 1)便器・尿器の選択と援助方法	2	演習
			2)排便障害時の援助 浣腸	2	
			3)排尿障害時の援助 導尿	2	

授業科目 基礎看護技術論Ⅶ : (1単位:30時間)

<目 標>

1. 罨法・創傷管理・吸入・吸引の基本的援助技術を理解できる
2. 薬物療法実施上での安全管理の実際を理解できる
3. 薬物療法を実施するための基本的援助技術を理解できる
4. 診察と検査の介助を実施するための基本的援助技術を理解できる

履修時期：1年次後期

評価時期：1年次後期

評価方法：筆記試験 実技試験 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

佐藤成美 14時間 罨法・吸入・吸引・創傷管理、診察と検査
母体病院にて看護師7年

渡邊 瞳 16時間 与薬
母体病院、他医療機関にて看護師12年

使用テキスト：医学書院・基礎看護技術Ⅱ

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
佐藤	罨法	吸入・吸引・罨法・創傷管理の意義と基本的援助技術を理解できる	1. 罨法の意義 2. 罨法援助時の実際	2	講義	筆記 30点
	吸入		1. 吸入の意義 2. 吸入の援助の実際 1) 酸素吸入 2) 薬液吸入	2		
	吸引		1. 吸引の意義 2. 吸引の援助の実際	2		
	創傷管理		1. 創傷管理とは 2. 創傷処置 1) 創保護(ドレッシング材) 2) 包帯法	2		
渡邊	与薬	1. 薬物療法上での安全管理の実際を理解できる 2. 薬物療法を実施するための基本的援助技術を理解できる	1. 薬物療法の意義と基本知識 法律・薬物の種類・吸収と排泄 薬理作用と影響	2	講義	筆記 50点
			2. 薬物療法における看護師の役割と他職種との連携看護と法律・薬物療法における安全管理・安全な与薬法	2		
			3. 各種薬物療法の援助技術 1) 経口与薬 2) 外用薬与薬：直腸内・点鼻・点眼・塗布	2		
			3) 注射法 注射の準備、医療廃棄物の取り扱い方	2		
			皮内 皮下 筋肉内	2		
			静脈内・点滴の管理	4		
			4) 輸血法	2		

佐藤	診療	診察と検査の 介助の意義と 実施するた めの基本的 援助技術を 理解でき る	1. 診療の意義 2. 診察時の援助技術	2	講義	筆記 20点
	検査		1. 検査の意義・種類・看護師の役割 2. 採血 1) 静脈内採血	2		
			1. 血糖測定 2. 穿刺 (胸腔・腹腔・腰椎・骨髄)	2		

授業科目 基礎看護技術論Ⅷ (1単位：30時間)

<目 標>

1. 電法・創傷管理・吸入・吸引の基本的援助技術を習得できる
2. 薬物療法を実施するための基本的援助技術を習得できる
3. 検査の介助を実施するための基礎的援助技術を習得できる

履修時期：1年次後期

評価時期：1年次後期

評価方法：実技試験 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

佐藤成美 14時間 電法、創傷管理、吸入、吸引、検査
母体病院にて看護師7年

渡邊 瞳 16時間 与薬
母体病院、他医療機関にて看護師12年

使用テキスト：医学書院・基礎看護技術Ⅱ

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法
佐藤	電法	電法の基本的援助技術を習得できる	1. 電法援助時の実際 1)冷電法 2)温電法	2	演習
	創傷管理	創傷処置の基本的援助技術を習得できる	1. 創保護の実際（ドレッシング材） 2. 包帯法の援助の実際	2	
	吸入	吸入・の基本的援助技術を習得できる	2. 吸入の援助の実際 1)酸素吸入	2	
			2)薬液吸入	2	
吸引	吸引の基本的援助技術を習得できる	3. 吸引の援助の実際 1)一時吸引	2		
渡邊	与薬	薬物療法を実施するための基本的援助技術を習得できる	1. 各種薬物療法の援助技術 1)経口与薬（口腔内、外用薬含む）	2	演習
			2)直腸内与薬	2	
			3)注射法 注射の準備、医療廃棄物の取り扱い方	2	
			4)皮内	2	
			5)皮下	2	
			6)筋肉内	2	
			7)静脈内注射、8)点滴静脈内注射	4	
9)点滴の管理（輸液ポンプでの管理）	2				
佐藤	検査	検査の介助を実施するための基礎的援助技術を習得できる	1. 採血 1)静脈内採血	2	演習
			2)血糖測定	2	
			3)穿刺（胸腔・腹腔・腰椎・0骨髄）		

授業科目 基礎看護方法論（1単位：30時間）

<目 標>

1. 健康障害を持つ対象を理解し、主要症状・経過・治療・処置に応じた看護援助が理解できる
2. 事例を通して、既習の技術を統合させ、看護実践の基礎的援助技術を修得できる

履修時期：1年次後期

評価時期：1年次後期

評価方法：試験 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

根本桂子 22時間 主要症状別看護、経過別看護、治療・処置別看護
母体病院にて看護師13年

伊藤祐子 8時間
母体病院にて看護師11年

使用テキスト：医学書院・臨床看護総論

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
根本	主要症状別看護	代表的な主要症状に対する援助方法を理解できる	1.痛みのある患者の看護	2	講義	筆記 20点
			2.呼吸障害のある患者の看護	2		
			3.循環障害のある患者の看護	2		
	経過別看護	疾病の段階、経過に応じた援助方法を理解できる	1.健康障害時の経過分類 1)急性期における対象者の特徴と看護の基本 2)慢性期における対象者の理解と看護の基本	2	講義	
3)回復期における対象者の特徴と看護の基本 4)終末期における対象者の特徴と看護の基本			2			
根本	治療・処置別看護	代表的な治療・処置に対する援助方法を理解できる	1.安静・食事療法を受ける対象者への看護	2	講義	筆記 30点
			2.輸液療法を受ける対象者への看護	2		
			3.化学療法を受ける対象者への看護 放射線療法を受ける対象者への看護	2		
			4.手術療法を受ける対象者への看護 (集中治療・医療機器も含む)	4		
			5.身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護	2		
伊藤	日常生活援助技術評価	事例からの日常生活援助技術の知識を統合させ、実施できる	1.日常生活援助の必要な事例 1)アセスメント, 2)計画立案 3)援助の実際	8	演習実技	筆記 + 実技 50点

授業科目 成人看護概論 (1単位：30時間)

<目 標>

成人の生活と健康課題を学び予防と回復に向けて成人の特性や能力に応じた看護が理解できる。

履修時期：1年次

評価時期：1年次

評価方法：試験 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

円谷かおり 30時間 母体病院、他医療機関にて看護師17年

テキスト：医学書院 成人看護学①成人看護学総論

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
円谷	成人の特性と生活	成人の生活と健康課題が理解できる	1. 成人の定義 2. 成人各期の身体・心理・社会的特徴 3. 成人期の発達課題の特徴 1)ハヴィガーストの発達課題 2)エリクソンの発達段階	2	講義	筆記 100 点
			1. 成人の生活、成人を取り巻く環境 1) 成人各期の生活の特徴 2) 成人の役割、健康観の多様性	2	講義	
			1. 成人保健の動向 1)生と死の動向、受療状況、自殺	2	講義	
	健康の保持増進、疾病の予防に向けた看護	健康の保持増進・疾病の予防に向けた看護が理解できる	1. 成人に特有な健康課題 1)職業性疾患の要因 2)ストレス関連疾患の要因 ストレス反応・コーピング	2	講義	
			1. 成人に特有な健康課題 1)生活習慣病の要因、予防 ～グループ発表～	2	GW	
			1.ヘルスプロモーションと看護 1)ヘルスプロモーションを促進する看護 2)自分の住む地域や職場での取り組み	2	講義	
	成人の特性や能力に応じたアプローチ	成人を看護するときの基本的アプローチが理解できる	1. 成人への看護アプローチの基本 1)大人の学習（アンドラゴジー） 2)行動変容を促進するアプローチ 3)意思決定支援 4)チームアプローチ	2	講義	
	急性期にある患者と家族の看護	急性期にある患者・家族への看護アプローチが理解できる	1. 急性期にある患者の理解 1)患者と家族の身体・心理・社会的特徴 2.危機状態にある人への看護 1)アギュララとメズイックの危機介入	2		

円谷			2)フィングの危機介入		
	慢性疾患がある患者と家族の看護	慢性疾患を持つ患者への看護アプローチが理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性病患者の理解 2. 慢性病との共存を支える看護 <ol style="list-style-type: none"> 1)病みの軌跡 2)エンパワーメント 3)自己効力 4)事例展開 	2 2	講義
	セルフケア・自己管理への看護	患者のセルフケア・自己管理にむけた看護アプローチが理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習者である患者への看護技術 <ol style="list-style-type: none"> 1)エンパワーメントーエデュケーション 2)セルフケアとセルフマネジメント 3)セルフマネジメントを推進する看護技術 4) アドヒアランスを高めるための知識と技術 	2 2	講義
	人生の最後のときを支える看護	人生の最期のときを支える看護が理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人生の最期のときを支える看護 <ol style="list-style-type: none"> 1)意思決定支援と看護師の役割 2)アドバンスケアプランニング 	4	講義 DVD
まとめ	単位認定試験				

授業科目 老年看護概論（1単位：15時間）

<目 標>

高齢者の特徴と動向を理解し、看護の役割が考えられる

履修時期：1年次後期

評価時期：1年次後期

評価方法：筆記試験、レポート、授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

伊藤祐子 15時間 母体病院にて看護師11年

使用テキスト：医学書院 老年看護学

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
伊藤	老年期の理解	老年看護の概念について理解できる	1.高齢者の定義 2.加齢と老化、生理的老化と病的老化 3.高齢者の個別性・生活史・多様性	2	講義	筆記 90点 レポート 10点
		老年期の発達課題と身体的・心理的・社会的側面の変化について理解できる	1. 老年期の発達課題 2. 加齢に伴う身体的・心理的・社会的側面の変化 1) 恒常性の変化、疾患の特徴 2) 知能の変化 3) 役割と社会活動の変化、就労と収入	2	講義	
	高齢社会と社会保障	わが国の高齢化の現状・特徴を知りその要因・問題を理解できる 高齢社会におけるわが国の保健・医療福祉の動向が理解できる	1.人口の高齢化現象と諸問題 1) 高齢化率、平均寿命と健康寿命 2) 高齢者の健康状態（有訴者率、通院者率、受療率） 2.高齢社会におけるわが国の保健・医療福祉の動向 1)保健医療福祉制度の変遷 2)高齢者医療確保法	2	講義	
	老年看護の役割と権利擁護	高齢者の人格や価値観を尊重し、尊厳と権利を守るといふ看護者のあるべき姿を理解できる	1.老年看護の目標・対象 2.老年看護の特徴（パワーlessness、ICFモデル、リロケーションダメージ） 3.高齢者の権利擁護 1)高齢者差別 2)高齢者虐待 3)身体拘束 4)権利擁護のための制度 4. 老年看護における理論	2	講義	
	高齢者の理解	高齢者の心身の理解を深めるとともに看護職者としての援助のあり方を考えることができる	1.高齢者疑似体験	2	演習	

	高齢者の生き方について理解できる	1. 高齢者の生きがい 2. 高齢者の性	2	講義
	高齢社会における家族形態と終末における医療・ケアについて理解できる	4. 高齢社会の家族形態の特徴 5. 高齢者の終末における医療・ケア	2	講義
	単位認定試験		1	

授業科目 小児看護概論（1単位：30時間）

<目 標>

1. 小児は取り巻く環境の影響を受けて成長発達することを理解できる。
2. 成長発達および健康の維持増進を促がす関わりの必要性を理解できる。
3. 健康な小児の日常生活援助を習得できる。

履修時期：1年次後期

評価時期：1年次後期

評価方法：筆記試験 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

福岡あずさ 30時間 母体病院にて看護師6年

使用テキスト：医学書院 小児看護学[1]小児看護学概論

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
福岡	小児看護の対象と特質	子どもは、家族および社会の影響を受けながら成長・発達することを理解できる	1. 小児と家族の諸統計	2	講義	筆記 100 点
			2. ライフサイクルからみた小児期			
	小児看護における倫理	主体的存在としての子どもの権利について理解できる	3. 小児の特性	2		
			4. 小児にとっての家族			
	小児の成長発達	小児の成長・発達を形態・機能的発達と精神発達の各側面から理解できる	5. 小児看護の変遷と現状	2		
			6. 小児看護の対象と目標			
			1. 子どもの最善の利益にかなう医療・看護	2		
			2. 児童の権利に関する条約			
			3. 小児看護領域の業務基準	2		
			1. 発達の原則			
	2. 小児各期の形態的成長					
	3. 小児各期の機能的発達					
	子どもの生活	子どもの生活は、発達段階に応じたはたらきかけが必要であり将来に大きく影響することを理解できる	4. 精神運動機能発達	2		
5. 心理・社会的発達						
6. 発育の評価			2			
1. 各期の特徴・新生児・乳児期の生活				2		
2. 幼児期の生活						
1) 基本的生活習慣と遊び	2					
2) 感染予防						
3. 学童・思春期の生活	2					
4. 乳児期の生活 おむつ交換		2	演習			
単位認定試験・まとめ				2		

授業科目 母性看護概論（1単位：15時間）

<目 標>

人間の性と生殖の意義および母性各期の特徴を学び、母性看護活動の中での看護の役割を理解できる

履修時期：1年次後期

評価時期：1年次後期

評価方法：筆記試験 レポート グループワーク 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

大河原友子 15時間 母体病院、他医療機関にて助産師13年

使用テキスト：医学書院 母性看護学[1]母性看護学概論

講師	単元	単元目標	教育内容	時間	授業方法	評価
大河原	人間の性と生殖	1.人間の性と生殖のしくみを理解し、多様な性のとらえ方を理解できる	1. セクシャリティ 2. リプロダクティブヘルス	2	講義 演習	筆記・ 70点 レポート 20点 GW 10点
		2.性に関する問題を理解できる	現代の性に関する問題① (DV、)	2	講義 演習	
			現代の性に関する問題② 不妊治療 出生前診断（レポート）	2		
	母性看護の対象の理解	母性看護の対象に必要な理論が理解できる	1.母性意識の発達 母子相互作用、母親役割獲得 2.家族の発達、家族の役割	2	講義	
	母性と環境	母性看護の対象を取り巻く環境を理解できる	1.女性の環境に関する統計 就業、結婚、出産など 2.女性の就業支援と子育て支援 3.母性看護活動	2	講義	
	女性のライフサイクルと健康	1.女性のライフサイクルと健康問題について理解できる	女性のライフサイクルと健康問題 ・保健指導グループワーク	2	講義 演習	
		2.家族計画の意義と必要性を理解できる	・グループワーク発表 ・家族計画の意義	2		
	まとめ		試験	1		

授業科目 母性看護方法論 I (1単位：30時間)

<目 標>

妊娠期の経過を学び、健康状態に合わせた援助方法を理解できる。

履修時期：2年次前期

評価時期：2年次前期

評価方法：筆記試験 グループワーク 看護過程 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

大河原友子 30時間 母体病院、他医療機関にて助産師13年

使用テキスト：医学書院 母性看護学[2]母性看護学各論

講師	単元	単元目標	教育内容	時間	授業方法	評価
大河原	妊娠の生理と経過	妊娠の正常な経過と胎児の発育を理解できる	1.妊娠の成立 (妊娠の定義、受精と着床、妊娠の診断)	2	講義	筆記 65点、 GW 15点、 看護過程 20点
			2.胎児の成長・発達 (胎児の発育、胎児附属物の特徴)	2	講義	
	妊婦の健康診査	妊婦の健康状態を判定するために必要な情報と診察技術を理解できる	1.妊婦健康診査と妊娠初期の診察技術	2	講義	
			2.妊婦健康診査と中期・後期の診察技術	2	講義	
	妊婦の理解	妊婦の心理的・身体的特徴を理解できる	1.妊婦の心理的特徴	2	講義	
			2.妊婦の身体的特徴	2	講義	
	妊婦の保健指導	妊娠経過を快適に過ごすための援助と必要性がわかる	1.保健指導の意義	2	講義	
			・妊娠各期の保健指導グループワーク	2	演習	
			・妊娠各期の保健指導グループワーク発表	2	演習	
			2.分娩の準備	2	講義	
	異常妊婦の看護	1.妊娠期に起こりやすい異常を理解できる 2.異常の予防と早期発見のための援助を理解できる	切迫早産、多胎妊娠、妊娠高血圧症候群	2	講義	
			妊娠糖尿病、妊娠性貧血	2	講義	
	看護過程	ペーパーペーシェントを通して看護の展開ができる	1.事例の理解	2	演習	
			2.看護過程の展開	2	演習	
			3.看護過程の解説	2	講義	

授業科目 精神看護概論（1単位：30時間）

<目 標>

心の健康とは何か、また、阻害する要因とは何かを知ることにより、精神保健の重要性とその看護の必要性を理解できる

履修時期：1年次前期

評価時期：1年次前期

評価方法：筆記試験 GW 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

佐藤成美 30時間 母体病院にて看護師7年

テキスト：メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 精神看護学①

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
佐藤	心の健康	心とからだの密接な関係を理解することから、心の健康に対する看護の役割を理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心とからだの密接な関係を考える 2. 心とからだの密接な関係を科学的に考える 3. 病気をもっている人の心と看護の役割を知る 4. 精神の健康とは 	4	講義	筆記 100 点
	心の発達を理解する	人は、成長各期の発達を経ることにより社会的存在としての人格を形成していくことを理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胎児期・新生児期・乳児期 2. 幼児期・学童期・青年期 3. 壮年期・老年期 	4 2 2	講義	
	環境と心の健康	心の健康は、環境による影響が大きいことを理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族 2. 教育の場 3. 職場 4. 地域 	6	演習	
	危機状況と心の働き	人は、さまざまな危機状況に遭遇しそれを乗り越えることで、社会的適応がされていくことを理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期 2. 学童期 3. 壮年期・老年期 4. 医療現場 5. 救急医療・終末医療 	2 2 2 2	講義	
	精神保健活動の展開	わが国における精神保健の歴史と、活動を理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. わが国の精神保健 2. 精神保健行政 	4	講義	

授業科目 在宅看護概論（1単位：15時間）

<目 標>

1. 在宅看護の目的と対象の特徴を理解する。
2. 地域で療養している人を支えるための在宅看護の機能と役割を学ぶ。

履修時期：2年次前期

評価時期：2年次前期

評価方法：筆記試験 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

根本桂子 15時間 母体病院にて看護師13年

使用テキスト：メディカ出版 在宅看護論 地域療養を支えるケア

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
根本	現代社会と在宅看護論	在宅看護の社会的背景と在宅看護の目的と基本理念を理解する	1. 日本の在宅看護の歴史と現状 1) 日本の在宅看護の変遷と社会背景 2) 在宅看護の社会背景 2. 地域療養を支える在宅看護 1) 在宅看護の位置づけ 2) 在宅看護の対象者	2	講義	筆記 100 点
		在宅看護を支える制度と社会資源を理解する	1. 在宅看護の倫理と療養者の権利 2. 権利擁護や成年後見制度 3. 生活保護制度	2	講義	
	地域包括ケアシステムにおける在宅看護	地域療養を支える制度と、在宅におけるケアマネジementを理解する。	1. 介護保険法 2. 社会資源（人的、物的） 3. 居宅支援とケアマネジement 4. 地域支援事業と地域包括支援センター	4	講義	
			1. 訪問看護ステーション 1) 訪問看護ステーションの従事者、内容、流れ	2	講義	
			1. 療養の場の移行に伴う看護 1) 地域密着型サービス 2) 介護医療院	2	講義	
	継続看護への取り組み	在宅ケアにおける、関係機関・関係職種との連携が理解できる。	1. 継続看護 2. 退院調整	2	講義	
	在宅ケアと現代家族	対象となる家族の形態、機能の特徴と諸理論を理解する	1. 在宅療養の場における家族の捉え方 2. 家族の機能・役割・形態 2. 家族介護者の状況	1	講義	
	まとめ		全体のまとめ		講義	

授業科目 在宅看護方法論Ⅱ（1単位：30時間）

<目 標>

1. 在宅看護の展開の特徴を理解する。
2. 地域における社会資源を有効に利用するためのケアマネジメントについて理解する。

履修時期：2年次後期

評価時期：2年次後期

評価方法：筆記試験 看護過程 授業態度

講師名・担当時間数・実務経験：

根本桂子 15時間 母体病院にて看護師13年

使用テキスト：メディカ出版 在宅看護論 地域療養を支えるケア

講師	単元	単元目標	内容	時間	授業方法	評価
根本	ケアマネジメント	地域における社会資源を有効に利用するためのケアマネジメントについて理解できる	1. ケアマネジメントとは 2. ケアマネジメントの必要性 3. ケアマネジャーの役割	2	講義	筆記 70点 + 看護 過程 30点
			1. 事例を通してケアプランを作成	4	GW	
			1. ケアプラン発表 2. 在宅ケア体制の現状と今後の課題	2	講義	
	家族看護	1. 家族看護過程が理解できる 2. 家族の変化について理解し、家族を多面的にとらえることができる	1. 家族に関する諸理論 2. 事例を通しての家族看護の展開	2	講義	
			1. 事例を通しての家族看護の展開	4	GW	
			1. 家族看護発表	2	講義	
	在宅看護・訪問看護時の面接技術	在宅看護の基本技術を習得する	1. 初回訪問の面接技術 2. 面接条件 指導・相談技術	2	講義	
			1. 面接条件 指導・相談技術	4	GW	
			1. 面接技術発表	2	講義	
	在宅看護での看護過程の特徴	在宅看護の展開の特徴が理解できる	1. 看護過程 1) 在宅における看護過程の特徴 2) 訪問看護記録 3) 看護過程の構成要素	2	講義	
			1. 事例を通しての在宅看護の展開	4	GW	